

事前研究（指導案の検討）は、小学校では、全校の先生方で行われ、中学校では、「同教科の先生方で行う」が最も多く、ついで、「全校の先生方で行う」となっている。……問4の（4）

指導案の検討にあてられた時間は、「1時間以上2時間未満」が多い。……問4の（5）

- (5) 授業研究では、教育機器として、主にOHPやテープレコーダーが使用されている。……問4の（6）の②
- (6) 授業研究の記録の方法は、「観点をきめ手わけして逐次記録をした」が、小学校では、約75%、中学校では、約65%であった。このことから、授業研究を客観的にしようとする努力がうかがえる。……問4の（7）
- (7) 授業研究の事後研究は、授業当日に行い、「1時間以上2時間未満」の時間をかけているところが最も多い。……問4の（8）、（9）
- (8) 小・中学校ともに、授業研究が自分の授業の改善に役立つと感じている先生が多い。……問5
- (9) 授業研究実施上の主な問題点として、小・中学校ともに、「時間がとれない」をあげている。……問6
- (10) 授業研究の内容に関する主な困難点として、「指導案作成の段階」と「授業のねらいの達成度を判定する段階」をあげている。……問7
- (11) 小・中学校とも、授業をよくするために、「児童・生徒の学習意欲をもりあげること」と「教材研究を深めること」を毎日の授業のなかで努力したいとしている。……問8
- (12) 事前研究——授業実践・観察・記録——事後研究の手順を踏んだ授業研究をすることが、授業をよくするために役立つと考えている。……問9